

第 2 回 小櫃てらす全体会議 議事録

開催日時	2026 年 9 月 29 日（火） 19:00～20:30
場 所	小櫃公民館 研修室
出席者	運営委員：藤田、篠田、小泉、吉田、 会 員：川名、齊藤、勝、御園、片倉、 會澤（公民館）、高梨（市民センター）、安藤（記録）
次回開催	11 月 17 日(火) 19:00
記 録	音声の文字起こしをもとに作成

1. 議題

1. 近況報告(台風・豪雨の被害状況など)
2. 全体スケジュールと各部会の進捗
3. たまごフェスタの報告と「たまごリベンジ」の検討
4. O I M O プロジェクト
5. たまねぎ栽培講座
5. インフラ部会(地域アンケート・中学生との対話)
6. 教育(このハナプロジェクト)
7. 文化祭への展示
8. 次回日程・その他

2. 決定事項

項目	内容	日程
次回全体会議	文化祭の振り返りと、焼き芋大会の詳細を協議する	11/17(火) 19:00
芋の収穫	10/3 の収穫は断念。畑の乾き具合と霜の時期を見て実施する。良い芋が採れない場合、焼き芋用は購入も検討	10/24(土)頃(天候次第)
焼き芋	日程は変更しない。もみ殻(くん炭)を使った焼き方を事前にテストする	12/6(日)
玉ねぎ講座	初心者向けの栽培講座。回覧は見送り、チラシ約 200 部を印刷して会員が手渡し、LINE でも周知する	10/23(金) 19:00～20:30
このハナ 第 1 回	デザイナーの講話と自己紹介シールづくり。定員 15 名。10 月の子ども食堂でチラシを配布する	11/24(火) 18:00～19:30

項目	内容	日程
たまごプロジェクトリベンジ	文化祭 2 日目に「パック詰め販売」中心で行う案で調整。実施の最終判断は運営委員会で行う	案:11/1(日) 判断:10/8(木)

3. 議事内容

3-1. 近況報告

台風・豪雨の被害状況を中心に、参加者から近況の共有があった。

3-2. 全体スケジュールと各部会の進捗

- ・たまごフェスタ(9/20)は台風・停電の影響で中止となった。
- ・O I M O:10/3 の収穫予定は日照不足のため延期(詳細は 3-4)。
- ・教育:今月・来月は通常どおり子ども食堂で活動。11 月にデザイナー（片倉さん）の講話、2 月に美容師(鈴木さん)をゲストに迎える予定。
- ・農業:10 月にはじめての玉ねぎ栽培講座・その後栽培実習を実施。
- ・インフラ:アンケートを実施し、集計・分析を進める。

3-3. たまごフェスタの報告と「リベンジ」の検討

【報告】

- ・ピンポン玉、ざるなどの資材は購入済み。
- ・キッチンカー出店予定の事業者の方には、事前準備として 9/16 に卵を納品済み。費用は団体負担とし、謝意として進呈のうえ今後の協力を依頼した。

【検討内容】

リベンジの時期(今年か来年か)について意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

- ・文化祭での実施が、搬入や準備の面で行いやすい。来場者が見込めるため集客の必要がなく、文化祭側にとっても目玉になる。
- ・文化祭は 2 日間。2 日目(11/1)はカラオケが中心で来場者が少なめのため、出店の相乗効果が期待できる。
- ・会場は 9～15 時、準備は 8 時から可能。カラオケが休憩となる 11～13 時は来場者が外に出るため、この時間帯の販売が効果的。
- ・今年は準備の負担が少ない「パック詰め販売」に絞る方向。事前準備を不要にし、卵は当日午前(10 時頃)に生産者から搬入してもらう。数量限定で赤玉中心とする案が出た。
- ・つかみ取りは盛り上がりとの意見あり。卵かけご飯の試食や食べ比べは、来年以降の課題とする。

- ・ 人手は、終日は難しいが部分的に手伝える人が数名。パック詰め担当と販売担当で最小限の運営が可能。文化祭に別の立場で参加する会員も多い。
- ・ お土産を求める来場者が多く、パック詰めなら売れるとの見込み。在庫の卵パックの活用にもつながる。

【結論】10月初旬の運営委員会(10/8)で実施可否を判断する。

3-4. O I M O プロジェクト

- ・ 10/3の収穫祭りは断念。畑に入れる状態になり、土が乾かないと収穫できないため。
- ・ 試し掘りを実施。霜が降りる前に収穫すれば問題ないとの見解で、10/24(土)前後で調整する(天候次第)。生育が悪い場合でも、焼き芋用の芋は購入して対応する。
- ・ 収穫の手伝いは、決まり次第ホームページと会員への声かけで案内する。
- ・ 焼き芋大会は12/6(日)で変更なし。熟成期間は短くなるが問題はなし。
- ・ 焼き方は、もみ殻(くん炭)を使う方法を、手持ちの芋で事前にテストする(焼き時間・味・においを確認)。
- ・ 併せて、芋のつるを使ったクリスマスリース作り(つるは乾燥中)、料理教室、芋ハンなどを検討。

3-5. たまねぎ栽培講座

- ・ 「はじめての玉ねぎ栽培講座」を10/23(金)19:00~20:30に開催。講師は西原の田中さん。先行したさつまいも栽培講座が好評だったことを受けた企画。
- ・ 回覧は10/15配布のため講座に間に合わず、見送り。チラシは約200部を印刷する。店頭コピーよりも印刷所への発注が割安との試算で、翌日発注予定。
- ・ 配布は、会員が近所・同じ班の人へ手渡すほか、郵便局・医院・店舗などに設置を依頼し、LINEでも周知。農家中心になりがちなため、市街地の住民にも届けたい。
- ・ 全体の課題:告知や中止連絡の経路が定まっていない。申込者へのメール連絡、ホームページ、LINEなどの経路を整理し、次回以降に生かす。
- ・ さつまいもの収穫後、その畑で玉ねぎの栽培実習を行う。

3-5. インフラ

- ・ 地域医療:地元の医院の院長と面談。住民アンケートの結果と、院長の地域医療への考え・取り組みを冊子にまとめて配布する計画。
- ・ アンケートは印刷済み。会員に、家族など幅広い年代への配布・回収を依頼し、当日配布分を渡す。回収ボックスを用意。文化祭にても配布を実施。
- ・ 中学3年生との対話:現中学3年生が小学6年時に書いた作文が団体設立のきっかけの一つとなった。彼らの将来や地元への思い(進学や上京の葛藤など)を、事業ではなく「お話を聞く場」と

して 30 分程度で聞きたい。学校側の希望は 9 月～10 月半ば。簡単な指導案を共有ドライブに保存済みで、会員の了承が得られれば、2 週間以内を目安に学校を訪問して実施する。

3-6. 教育

【このハナプロジェクト（職業講話） 第 1 回(デザイナー編：片倉さん)】

- ・ 目的:さまざまな職業の話を聞き体験することで、子どもたちの知識と仕事への視野を広げる。
第 1 回は子どもにもなじみのあるデザイナーの片倉さんを講師に迎える。
- ・ 日時:11/24(火) 18:00～19:30。当初は 18:30 開始の予定だったが、シール作成に時間が必要なため 1 時間半とした。
- ・ 内容:冒頭 15 分ほどで仕事内容やデザイナーになるまでをお話いただく。参加者には事前に自己紹介のイラストやキャラクターを考えてきてもらい、スキャンしてシールにする。デザインのポイントは講師の資料を後日 LINE で共有。
- ・ 申込:10 月の子ども食堂でチラシ(両面、裏面に事前にキャラクターを描く欄)を配布。窓口・QR コードからも申込可、当日参加も受け付ける。
- ・ 定員:15 名。超えた場合は申込順を優先し、シールは後日渡しにするなどで対応。別日の開催も検討。
- ・ 機材:会場でのスキャナー・プリンターの動作確認を、日曜などに行いたい。事務室のスキャナーは使用可。シールはラベル用シートで出力する案。

3-7. 文化祭への展示

- ・ 文化祭で団体としての展示を行う方向。プロジェクトごとに、写真を中心としたパネル(模造紙等)やデータで出展する。完成品を用意するより、一緒に作る形が望ましい。
- ・ 各部会に、必要な展示内容の提出を依頼する。
- ・ アンケートは、文化祭(10/31・11/1)の来場者にその場で記入してもらい回収する方法も可能。
- ・ 文化祭関連の判断は運営委員会で行う。

3-8. 次回日程・その他

- ・ 運営委員会:10/8(木)、11/12(木)。
- ・ 次回全体会議:11/17(火) 19:00。文化祭の振り返りと焼き芋大会の詳細を協議する。
- ・ メンバー拡大に向け、参加を広げる努力を続ける。

4. 今後の予定

日付	内容	備考
10/6 頃	花火・祭りの打合せ	地域行事

日付	内容	備考
10/8(木)	運営委員会	卵リベンジ・文化祭展示を判断
10 月中	子ども食堂でチラシ配布	職業講話の申込受付
10/23(金)	はじめての玉ねぎ栽培講座 19:00～20:30	
10/24(土)頃	芋の収穫	天候次第
10/31(土)	花火(延期後)/文化祭 1 日目	
11/1(日)	文化祭 2 日目 / たまごプロジェクトリベンジ	11～13 時が販売の狙い目
11/12(木)	運営委員会	
11/17(火)	第 3 回全体会議 19:00	文化祭の振り返り等
11/24(火)	このハナプロジェクト 第 1 回 18:00～19:30	定員 15 名
12/6(日)	焼き芋大会	日程
2 月	このハナプロジェクト第 2 回 (美容師をゲストに)	講師は鈴木さん